

株式会社 松本パック

障害のある方をその御家族と連携してフォロー



社員の声



宮崎 雅之さん
(入社:平成23年4月)

今の仕事を頑張って続けていきたいです

・仕事内容

製造ラインへの乾燥具材の補充や、乾燥具材が入っていたダンボールの解体などを担当しています。製造ラインの場所によって補充する量やタイミングが異なり、乾燥具材の補充が遅れると製造ライン全体の遅れにつながってしまうため、特に気を付けて作業をしています。

・仕事に対する思い

入社した当初は、仕事がなかなか覚えられず、上手にできない作業が多かったのですが、実際に作業をやりながら丁寧に教えていただいたため、現在では一人でも仕事を任せられるようになり、仕事を楽しいと思えるようになりました。休憩中にはパートの人とよく話をしている、気分転換と息抜きができています。これからもこの職場で頑張っていきたいと思っています。

・障害者雇用を考えている事業所へ

障害のある方の特徴は「真面目に頑張ることができる」ことだと思います。仕事を覚えるまでに少し時間がかかってしまうかもしれませんが、長い目で見ていただければ、成長し、必ず期待に応えられるようになると思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員7名のうち、知的障害のある宮崎さんの仕事の様子を紹介します。

8:30 ● 入社

衛生チェックに基づき、身支度を整えます。1日の業務や連絡事項などの確認を行います。

9:00 ● 作業開始

充填包装補助の作業に入ります。補助が遅れると、その部分でラインがストップしてしまうため、常に周囲に目を配り、ラインが滞りなく進むように意識しています。

12:00 ● 昼食

休憩室で他の社員と一緒に談笑しながら昼食をとりまします。

12:50 ● 作業再開

午前中の作業の続きを行います。乾燥具材が入っていたダンボールが溜まってくるため、解体作業も行っています。

17:10 ● 退社

工場内の清掃を行い、退社します。



■充填包装業務補助

充填包装を行っているラインへ、包装する乾燥具材などの補充を行います。



■ダンボール解体

乾燥具材が入っていたダンボールをハサミなどを使って解体し、所定の位置へ移動させます。



■休憩中の様子

休憩室にて、他の社員と一緒に談笑しながら昼食をとりまします。

雇用に際しての取り組み

御家族と連携して障害のある方をフォロー

障害のある社員の様子を見ていて、気になることがあればすぐに本人に声をかけたり、必要があれば御家族の方に連絡をとるようにしています。なぜなら、障害特性によっては、体調が悪くても周りに相談できず、頑張り過ぎて余計に体調を崩してしまうこともあるからです。体調や精神面での不調が続く場合には、当社だけで抱え込まず、御家族に相談し、協力して対応しています。



一緒に働く仲間だと認識させる

障害者雇用を始めた当初は、障害のある社員とない社員の間に話じづらさや「壁」を感じていました。当社の場合、ライン作業のため、一人でもペースが乱れると全体に影響してしまいます。そのため、障害のある社員が職場になじめるよう、仕事にも声をかけ、休憩中も他の社員と話せる機会を設けるように心掛けました。そのため、現在では「壁」はなくなり、誰にとっても居心地の良い職場環境になってきたと思います。



マニュアルを活用する

障害のある社員に仕事を教える場合、口頭だけでは伝わりにくい内容もあるため、写真付きのマニュアルを壁に掲示し、一つ一つの手順と一緒に確認しながら教えるようにしています。覚えるまでには少し時間がかかりますが、一連の流れを覚えることができれば、障害のある社員だけでも十分に力を発揮できるようになります。



いろいろなことをやらせる

障害のある社員がどのような業務で活躍できるかを見極めるためには、実際にやらせてみないと判断できないと思います。そのため、一つの業務だけをやらせるのではなく、複数の業務を経験してもらい、その中で得意そうな業務を判断し、任せるようにしています。障害のない社員が苦手としている業務に対し、障害のある社員が活躍してくれたこともあるため、本当に貴重な戦力になってきています。



事業内容

株式会社松本パックは、平成2年に設立し、即席みそ汁やインスタントスープ類などのインスタント食品に、乾燥具材やかやくを充填包装する業務を一貫して続けております。現在では第一工場、第二工場と製造拠点を拡大し、お客様のニーズに合わせた幅広い対応ができるように努めております。



障害のある社員の業務内容

- ・製品の袋詰め業務
- ・ラインへの具材供給業務



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

障害のある方でも貴重な戦力であることに変わりはありません



ライン管理担当者
松本 岳さん

障害のある方を受け入れる

「障害のある方は仕事ができない」というイメージから、障害者雇用に踏み込めない事業所も多いかと思えます。しかし、職場実習などで受け入れ、実際に働く姿を見ることにより、マイナスのイメージは払拭されるかと思えます。障害のない社員に比べ、仕事を覚えるまでには時間がかかるかもしれませんが、一度覚えたら根気良く続けてくれる一面もあるため、当社では、

本当に必要な戦力となっています。

支援機関との連携

支援機関の企業支援内容の一つとして、企業の業務内容に適した障害のある方を紹介してくれます。また、障害のある社員への教育方法について指導するジョブコーチ※制度など、様々な支援を受けられるため、まずは支援機関へ相談をすることから障害者雇用を始めてみるのが良いと思います。

※ジョブコーチ(職場適応援助者)・・・障害のある方が職場に適應できるよう、職場に向いて、障害のある方及び事業主に対して支援や助言を行う。

■事業所データ

設立 1990年(平成2年)
常用労働者数 220人
代表者 代表取締役
松本 泰明
所在地 〒379-2235
群馬県伊勢崎市
三室町6032-1

TEL:0270-20-8666
URL:www.m-pack.net



■会社概要

粉末スープ、乾燥具材などの充填包装及び、セットアップの委託製造が主な業務です。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 7人
うち重度障害のある社員数 3人

区分	身体	知的	精神
正社員			
契約社員			
パート		7人	
アルバイト			